

## オーダースーツ 女性向け充実

# 管理職に勝負服需要

百貨店やアパレルメーカーが婦人向けオーダースーツの取り扱いを増やしている。女性の管理職が増加し、会議や出張といったビジネスの現場での「勝負服」の需要が拡大しているためだ。既製服に比べると値は張るものの、生地や縫製にこだわる女性が多い。

そごう・西武は9月、プライベートブランド「リミテッドエディション

ン」の婦人向けパターンオーダーに高価格帯の商品を追加する。平均購入単価が5万円前後だった従来商品に対し、「もっと高級な素材を使った商品が欲しい」（そごう・西武）という要望が多かったからだ。

高価格帯の商品は西武池袋本店（東京・豊島）など3店で扱う。イタリ

ア製の50種類の生地をそろえ、上着は10型（8万3000円）、スカートやパンツは8型（3万6000円）を用意。セットでは11万9000円となり、従来の平均購入単価の2倍以上になる。主に30代以上の女性管理職を購買層に想定する。

三陽商会は主力ブランド「ポール・スチュアート」の常設6店舗で婦人向けパターンオーダースーツの販売を始めた。昨年実施した期間限定販売

に30代半ば〜40代半ばの働く女性から支持が集まり、計画を25%上回る売れ行きとなったため、常設店舗での取り扱いを決めた。表地21種類や裏地5種類、ボタン15種類のほか、袖口の仕様なども選ぶことができる。価格は上下セットで8万6100〜20万8950円。

若い女性もオーダースーツに関心を示す。青山商事の紳士服専門店「洋服の青山」が2006年から手掛ける婦人スーツのパターンオーダーに最近は就職活動の大学生に交じり、20代後半の利用者が増えているという。